

# 一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号 8
	令和 元年 8月29日
	午前・午後10時15分

議会名	令和 元年 第 3 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 4 番 木村 久雄		
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 軽度外傷性脳損傷について			
(1) 軽度外傷性脳損傷に対する認識について	①軽度外傷性脳損傷に対する本市の認識について伺いたい。		
(2) 今後の対応について	①軽度外傷性脳損傷について、本市は、今後、どのような対応をしていくのか、伺いたい。		
(3) 保育園における対応について	①保育園では、軽度外傷性脳損傷について、どのように対応しているのか、伺いたい。		
(4) 学校教育における対応について	①学校教育の現場では、軽度外傷性脳損傷について、どのように対応しているのか、伺いたい。		
2. バリアフリーについて			
(1) トイレの表記について	①性同一性障害の方に対する合理的配慮の一環として、市役所の多目的トイレが使いやすいようにならないか、伺いたい。		
(2) 市役所の障がい者専用駐車場について	①市役所の障がい者専用駐車場に屋根を設置し、バリアフリー化を図れないものか、伺いたい。		

<p>3. 食料自給率について</p> <p>(1) 食料自給率問題に対する認識について</p> <p>(2) 耕作放棄地の活用について</p> <p>(3) 農業生産力の向上について</p> <p>(4) 地産地消の推進について</p> <p>(5) 食べ残しを減らす取り組みについて</p>	<p>①本市は、食料自給率問題をどう捉え、どのように認識しているのか、伺いたい。</p> <p>①食料自給率の向上を図るために、耕作放棄地を有効活用できないか、伺いたい。</p> <p>①食料自給率を向上させるためには、農業生産力を高めることが重要である。そこで、農業生産力の向上について、本市は、どのように考えているのか、伺いたい。</p> <p>①食料自給率を向上させるためには、地産地消は有益な視点といえる。平成 28 年第 1 回定例会の際には、「農産物直売所や農村レストランの活性化、学校給食等への地域農産物の提供、地域農産物を原材料とした加工品開発、販売、地産地消推進店の拡大等、及び消費者の理解、促進等により地産地消の取り組みを推進してまいりたいと考えております。」との答弁をいただいたが、その地産地消の取り組みについて、詳細を伺いたい。</p> <p>①食料自給率を向上させるためには、食べ残しを減らすことも重要である。そこで、本市は、食べ残しを減らす取り組みについて、どのように考えているのか、伺いたい。</p>
<p>4. ほめる人材育成について</p> <p>(1) 「ほめて育てるコミュニケーション・トレーニング」の導入について</p> <p>(2) ほめる研修の導入について</p>	<p>①「ほめて育てるコミュニケーション・トレーニング」を導入し、子育て支援の推進並びに児童虐待の予防等を図れないか、伺いたい。</p> <p>①市職員の人材育成のために、ほめる研修を行えないか、伺いたい。</p>